

かみしるべ 第4号

～すべての人に居場所と出番のあるまちづくり～

第4号 もくじ

- 笑顔あふれる地域に… (表紙)
- 地域の皆さんが主役! 知っておこう 地域包括ケアシステム
- 高齢者支援協議体活動報告



高齢者支援協議体

活動報告

←高齢者支援協議体メンバー

(明治小地区わがごとまるごと支え合い講座)



笑顔あふれる地域に…



平成二十九年年度の高齢者支援協議体では、
 ① 小学校区ごとの地域の支え合いの仕組みづくりとの連携 協働体制づくり
 ② 地域包括ケアシステムに関する普及啓発
 ③ 地域課題の把握と必要なサービスの創出を目標に、月1回の協議を続けています。
 小学校区ごとの地域の支え合いの仕組みづくり わがごとまるごと支え合い講座」では、地域包括ケアシステムについて分かりやすくお伝えするために、高齢者支援協議体のメンバーが寸劇を演じました。寸劇の内容は、とある一人暮らしの高齢の方が、地域の方々と交流をしながら支え合っていくストーリーです。詳細については、ぜひお住まいの地域で講座が開催された時に会場にお越しください。
 自分だったらどうするか「何が必要か」など、イメージしながら楽しんでご参加いただければと思います。

●高齢者支援協議体とは・・・
 協議体とは、地域の課題を解決するための話し合いの場です。 互助II助け合い」を中心とした地域づくりを住民主体で進めていくために助け合い活動を創出、充実させていく組織が協議体です。高齢者支援協議体は、上三川町全域の協議体として、社会福祉協議会、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、シニアサポーター、町職員などで構成されています。

「かみしるべ」
 年齢を重ねても誰もが安心して自分らしく生活でき、自立した生活を続けられるように地域ぐるみで支える仕組み(地域包括ケアシステム)の基盤づくりとして、多くの方に情報をお届けするために、かみしるべを発行しています。タイトルは「上三川町」と道しるべ「道案内」の意味を含めました。

【発行】チームかみしるべ(上三川町高齢者支援協議体)
 【事務局】上三川町 保険課 高齢者支援係
 電話 0285(56)9102
 FAX 0285(56)6868
 メール hoken01@town.kaminokawa.todhigi.jp

◎本誌についてご希望の方は、必要部数を事務局までご連絡ください。また、本誌町ホームページからもダウンロードできます。

編集後記
 突然ですが、あなたは将来、住み慣れた場所、地域でどのような生活を送るか想像したことがありますか?
 上三川町は、7つの小学校地区で、支え合いの仕組みづくりを展開することで、地域住民が地域の課題に向き合い、解決していく力を育むことを目指しています。
 今、やらなければ肩車社会のどりの若者がひとりの高齢者を支える社会のことはもちろん、肩車さえできない時代が見えてきます。
 人に寄り添う勇気があれば、助けてもらう時にも勇気が持てはります。
 他人事と思わず、我が事として未来予想図を描きながら、住み慣れた地域で人との関わりをたくさん持ち、幸せな人生だったといえる・・・。
 そんな素敵な地域には、あなたの力が必要なのです。
 在宅介護支援センタートータスホーム 生活支援コーディネーター 松岡 写真(明治小学校の編者です)

町社協では、地域の支え合い仕組みづくりをサポートする為、**わがごとまるごと支え合い講座**を開催しています。平成29年度は明治小学校地区と本郷小学校地区で開催し、平成31年とまでに7つ全ての小学校地区で開催予定です。皆様の地域でも行われますので、是非ご参加ください。

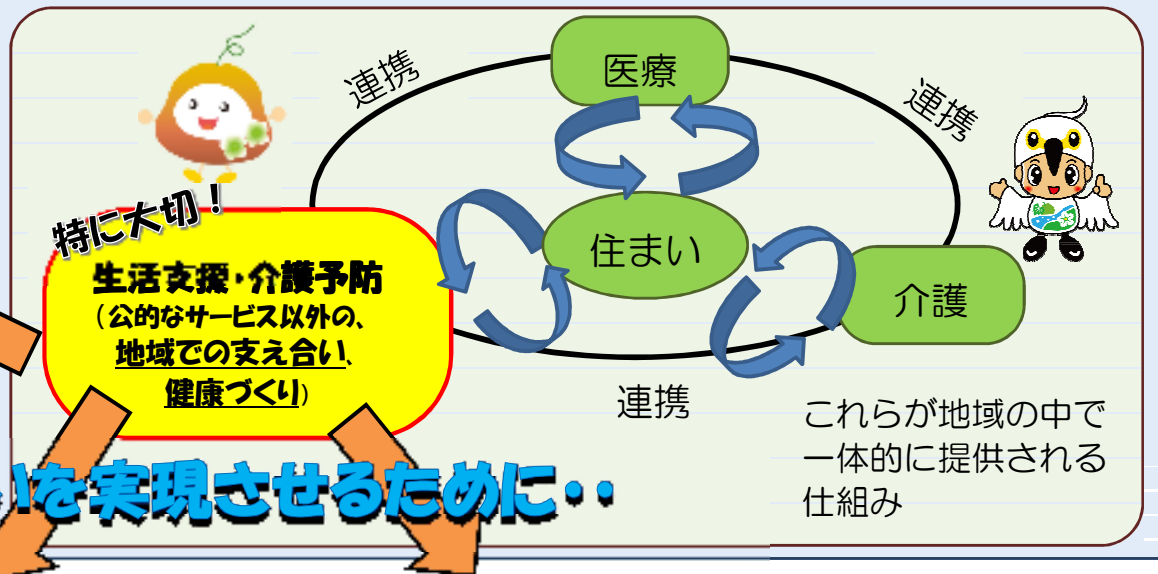
見直そう、お互いの健康
お互いの地域



地域の皆さんが主役！ 知っておこう、地域包括ケアシステム

現在、国では団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、重度な要介護状態や、認知症になっても住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしができる仕組みづくりを進めています。上三川町では、**小学校区（地区社会福祉協議会）**単位の支え合いの仕組みづくりを目指します。

地域包括ケアシステムのイメージ



地域の支え合いを実現させるために..

地域の居場所で活躍しています

住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくために、近所同士の交流や、運動のきっかけとなる“居場所”は、とても大切なものです。この、居場所での活動を盛り上げてくださるボランティアとして、**楽しく隊・創年倶楽部運営ボランティア**を養成しています。



居場所づくり推進

